

令和6年度 第1回 湖南広域休日急病診療所薬品審査委員会会議録		
日	時	令和6年10月30日（月） 14時40分～15時00分
会	場	湖南広域行政組合総合庁舎 5階会議室
出席者	委員	草津栗東医師会 : 新木委員 守山野洲医師会 : 小西委員・松川委員 びわこ薬剤師会 : 上出委員 守山野洲薬剤師会 : 間下委員 滋賀医科大学 : 多賀委員
	事務局	湖南広域行政組合 : 西出部長・角事務局長・白井主査・加藤主任・辻副主任
会議資料		別添のとおり

開 会

事務局

ただ今から令和6年度第1回湖南広域休日急病診療所薬品審査委員会を開催させていただきます。議事に先立ちまして、委員の半数以上が出席いただいております、本日の令和6年度第1回湖南広域休日急病診療所薬品審査委員会が成立したことを報告させていただきます。

（※湖南広域休日急病診療所薬品審査委員会規則第4条第2項）

委員長

それでは、薬品審査委員会を開催いたします。

議事に入ります前に、円滑な議事進行についてご協力をお願いします。

当委員会で委員の方々が発言された内容は、発信者や個人情報を除いて、後日、湖南広域行政組合のホームページに概要が掲出されますので、ご了承いただきたいと思います。

協議事項、令和5年10月から令和6年9月までの医薬品の使用状況について事務局から説明をお願いします。

事務局

資料7ページ以降の一覧表をご覧ください。

今年度休日急病診療所で取り扱っています医薬品については121品目となっています。令和5年10月以降令和6年9月までの使用状況、在庫状況を一覧としてまとめています。令和6年4月の医薬品の単価契約時におきまして、入荷困難な医薬品として単価契約できなかった医薬品27品目を黄色で表記しています。また、上記単価契約外品目の内、納品が遅れるなど注文通りの数量を納品していただけない医薬品の代替えとしまして、一覧表最下欄に8品目の医薬品を灰色で表記しています。当該後発医薬品等8品目については、第1回診療体制調整会議において一部の処方医薬品が入手できず、休日急病診療所の体を成していないのご意見が出ましたことから、契約業者以外からの購入、また後発医薬品での代替えについて協議検討いただき、現在一時的な医薬品として納品しているものとなります。

また急遽ではありますが、当診療所で採用の抗生物質の在庫表を資料として追加をしておりますのでご確認いただきますようお願いいたします。

また、本日欠席であります済生会滋賀県病院の越後先生から伝言がありましたので報告します。インフルエンザ薬のゾフルーザの採用を検討いただきますようお願いいたしますとのことでした。これらを含みまして医薬品につきまして精査、検討をいただきますようよろしく申し上げます。

委員長

この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらどうぞ。

ゾフルーザに関しましては、以前小児用のタミフルドライシロップが入手できなかったことから、タミフルを脱カプセルし対応していたことから、そういう状況になると大人用のタミフルも無くなってくるので、それであれば、大人に関してはゾフルーザを処方するという選択もできということもあつての提案だと思います。やっぱりタミフルドライシロップは中々入手困難な状況でしょうか。

A委員

今は入ってきています。

B委員

あくまでゾフルーザは大人のための処方薬とし、小児用のタミフルをしっかりと確保するためということだと思います。

C委員

タミフルの脱カプセルをしないためということですね。

D委員

ゾフルーザなら体重20kg以上なら1錠で、小児科にも使えます。

B委員

ゾフルーザは10mgと20mgの錠剤と細粒がありますが、どちらを採用希望されていますか。両方でしょうか。

委員長

基本的には大人用で錠剤を入れてほしいということだと思います。

D委員

2錠、4錠という使い方ということだと思います。

B委員

有効期限は長いのでしょうか。

C委員

1年以上はあると思います。

B委員

万が一流行らなくても持ち越しはできるということですね。

委員長

タミフルが無くなってくるときの保険のためという意味あい、ゾフルーザを採用してもよいのではないのでしょうか。

B委員

それは万が一、状況によっては小児にも使ってよいことにするのですか。小児科でもゾフルーザを使う先生がたまにいらっしゃると思いますが。

D委員

おられます。やはり1回だけの投与で済みますので。

- B委員 つまり、大人限定でという意味ではないということでしょうか。
- C委員 そういう使い方で良いのではないのでしょうか。体重20kg以上あれば1錠投与ということで。
- 委員長 ゾフルーザの件につきましては、採用していただくということでお願いします。
- 事務局 必要量については、いかがさせていただきますでしょうか。事務局としては、発注いただいた量を、通常の手続きとおりに発注しますので、必要量について今後ご検討をよろしくお願いいたします。
- B委員 中々難しいところがありますが、流行りが多ければ追加で購入いただけるというのが理想ですが。
- 事務局 タミフルの在庫も600人分程度ありますので、これも踏まえましてゾフルーザを採用するにあたり数量をご指示いただきましたら発注させていただきます。
使用方法については、先生方に一任させていただくということでしょうか。
- 委員長 それでよいと思います。
- B委員 診療が始まる前に薬剤師の先生から在庫数について、報告いただければ、医師が判断すると思います。
- 委員長 薬剤師先生の情報により、タミフル、ゾフルーザの使い分けをするという対応ができると思います。ゾフルーザは1回、1日分の処方だけで済む薬なので、休日急病診療所に向いている処方の仕方ではあると思います。
風邪症状に対しての処方のお薬が、かなり不足している状況が以前にあったと思いますが、そのあたりの入荷の方はどのような状況ですか。
- C委員 基本的には入ってこない状況です。
- A委員 咳止めはやはり薄い状況です。
- C委員 咳止めは、メジコン、ムコダインは勤務する薬局でも入荷しにくい状態となっています。薬局によってはコロナールも入荷困難な状況のようです。休日急病診療所は現在コロナールの在庫はある状況ですが、そのうちピークには恐らく入らない状況になると思います。ですので、現在の在庫量を確保されていると思います。
- B委員 ということは、錠剤の粉碎ということもあり得るのでしょうか。
- C委員 あり得ると思います。

- C委員 抗菌薬は、セフェム系はとても入手困難な状況です。
- A委員 余り入りにくい状況です。
- B委員 ワイドシリン細粒は大丈夫ですか。
- C委員 今は入りますが、今年また止まるかもしれません。
- B委員 ペニシリン系的には、溶連菌にはセフェム系のどちらかがないと困ります。
- C委員 休日急病診療所としては先発品を使わないといけないのですか。
- 事務局 現状、先発医薬品がある場合は先発を入れていただいています。
- C委員 休日急病診療所としては、今在庫のあるジェネリックを使ってしまって先発に戻したいという意向があるようです。
- B委員 先発品の方がより品薄状態なんですか。
- A委員 結局ですが、表に記載していないセフェム系とかでも大丈夫ですか。メイアクトとかセフゾンとか。そういった物でも大丈夫であれば、入るかもしれないですね。
- B委員 溶連菌に関しては何でもよくて、必ず処方しなければならない抗生剤はないような気がします。ペニシリンアレルギーの患者が時々いるのでそういった意味ではセフェム系は有ったほうが無難だと思います。
- A委員 表にはケフラールとフロモックスしか記載されていませんが、メイアクトとかセフゾンなども入れることができるのであれば、入れたほうがよろしいですか。
- B委員 無いよりはあった方がよいと思います。
- 委員長 恐らく風邪症状に対しての薬が品薄になり、あまり日数が出せないという状況が出てくると思いますが、昨年度は年末年始の期間の処方日数はどうされていましたか。
- B委員 一応、開業医や病院が開いているところまでの日数分でした。ですので今年度は、4日はどこかの病院が開いているという考えでいいのではないですか。
- 事務局 一応カレンダー通りとなりますので、患者様には「休みの期間分の処方日数とさせていただきます。」と説明しています。

委員長 ということは、年末初めに来られた場合は6日分ということですか。

B委員 1月4日は開業医診療所と私立の病院は開院されていると思いますので、29日に来られたら、6日分の処方の良いのではないのでしょうか。

委員長 薬が無くなってきて、出せない状況になってきたら、その都度診察側に情報を入れていただくようお願いします。原則は休み期間中の分は処方する形で日数分は出すということですのでよろしいのでしょうか。

B委員 解熱剤だけは何とか確保していただきたいと思います。

C委員 不足するとか続いて入ってこないとなれば分譲とかしますか。

事務局 時期によっても違いますし、薬のことについては薬剤師の先生方が一番ご存じだと思いますので、この表に記載されていない医薬品でも、先生方が「これを」と言っていただければ購入はさせていただこうと考えています。入らないものはどうしても入ってきませんので、それよりは、安定した形でお薬が入るものがあるのでしたら入れていただきたいと思います。

委員長 他特に薬剤に関してご意見がありますか。

委員長 そうしましたら薬品審査委員会につきましてはこれでよろしいでしょうか。それでは、議事4番その他に関しましては事務局なにかございますか。

事務局 特にございません。

委員長 それでは、以上で本日の予定されていました議事のすべてを終了いたします。皆様のご協力によりまして、議長の大役を務めさせていただくことができました。これで議長を終えさせていただきます。

事務局 最後に薬品審査委員会副委員長に閉会にあたりご挨拶をいただきますと思います。

副委員長 皆様長い間ご苦勞様でした。今年末の感染状況というのはコロナ、インフルがメインになりますが、診療所として万全の体制を整えて診療をしていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

閉 会

事務局 以上を持ちまして令和6年度湖南広域休日急病診療所薬品審査委員会を終了させていただきます。皆さんどうもありがとうございました。

議 了